

今月の御教え

天地金乃神が社に入られたら、この世は闇になる。神の社は、この天と地である。

……「天地は語る」第八条……

解説

この御教えは元治元年の正月に天地金乃神様より生神金光大神様に下された『広前建設』のお知らせの一節であります。

天地金乃神様は金光大神様に「宮を建ててくれい。但し、この宮はその方（金光大神様）が取次をする場所であり、天地金乃神が入る所ではない。もしも天地金乃神が宮、社に入ったら此の世が闇になる。この宮は、その方の取次の場所であり、氏子の願い礼場所である。」と、言われたのであります。

即ち、それまでは、神様といえばお宮やお社の中に鎮座しているものと思われていたのですが、金光大神様の出会われた『天地金乃神様』とは、今までの宮、社に鎮まる神様ではなく、この広大無辺の大天地に在って絶えず我々人間を見守って下さっている人間の本体の親神様であり、宮、社は天地金乃神様と参拝者を取次ぐ場所であることを明らかに示されたお知らせであります。